和二十九年の町政について二、三のあります。

年頭の餞け

五所川原町議会議長

を行

飛

島

淡

水

宰の熱意が濺がるるところ案外滑らたが、これも偏えに同僚議員諸氏の 議会生活二十有数年、無為にして

想を新た

VC

Service of the servic 頭 目出度ら 新年お一併問題があります。 町 長 0) 山 内 久三 郎

> る不便をおかけして参ったのであり ているため町民の皆さんには非常なす。

町村合併に関する特別法の施行と この事業と共に、都市計画事業と

えないところであります。

された事は、皆さんと共に喜びに耐

しましたところ皆様の絶大なる御支事が出來るでしよう。 月浅学非至りました事は、大五所川原町実現えて居ります。 とざいま「無当局の强力な指導のもとに今や合しては、皆さんの强い要望がありま 調査研究の第一歩を踏み出す段階に和三十年までに竣工いたしたいと考のための会合も重ねる毎に具体化し一千米に及ぶものでありますが、昭 併に関する関心はとみに高まり、そした裏田町線の新設工事は、總延長

承知の如く、將來の五所川原町に一現在までの水源施設は人口一万を対して今後なお幾多施設の整備拡充を 希望を申述べてみたいと思います。─ また緊急に解决を要するものとし、唯單にベットの増設によつて病院施◆五所川原小学校校舎增改築の件 さて新年を迎い心を祈たにし、招あらざるものと確信しているものでしる所以でありまして各位と共に卸っ木造住宅十五戸をメタンガス敷地 力を慎注する覚悟であります。 設意欲によるならば、さして難事には町民の相互扶助の精神を認識せら 件 画事業費歳入歳出追加予算の件 二、場所 五所川原小学校よりまして町政運営のため最善の努 再度の大火災から起ち上つた强い建 設の病棟増築工事完成を見ました事 ◆五所川原町公営住宅建設に関する ◆昭和二十八年度町特別会計都市計 午前九時4ヵ5午後 間皆樣の絕え間ない御鞭撻御支援にとはいうものの、皆さんの御協力と字経営となり、現在約六十ベツト增負らことになりました。今後三ケ年書と、困難なる問題が山積しているを示し、開院後僅か六ケ月にして黒 すでに新聞、ラジオ等を通じて御て上水道施設拡充の問題があります設は完全とはいい得ないのでありま さて新年を迎い心を新たにし、昭あらざるものと確信しているものでれる所以でありまして各位と共に御 同慶に存ずる次第であります、然し

援によりまして再び町長の重責を荷今後合併実現までにはなお多くの障今までその例を見ない順調なる実績→町有財産取得の件しましたところ皆様の絶大なる御支事が出來るでしよう。 に開院しました町立五所川原病院は 才をもかへりみず町長選挙に立候補の可能性をより强くしたものと言う。 次に一昨年十一月、町民注視の裡|定例町議会(十二月二十六日) 建造せる倉庫買収取得

木造住宅十五戸をメタンガス敷地件 跡に建設

築 可决◆町特別会計水道費起債及償還方法 教室六室便所其の他附屬建物增改 件 可决 康保險事業費蔵入蔵出追加予算の

大変草をもたらそうとしているもの鎌としたものであり、すでにその限行わなければならぬので今後共一層◆五所川原町起債及償還方法議決の対策の対く「將外の五房川県町トー子)」・ 議決の件

と展く青い山脈……旭光きらめく新自治の前進を希求し得られよう。「町を推進し、町政の伸展と町民の福贈つた後、町長の式辞、來賓の祝辞らもの。黎明のとばりを掲げて濶然進步的に、有機的に、新生五所川原る私は、ひたすら住みよい五所川原町内の代表に表彰狀並びに記念品を 春の巖頭、すくつと立ち上る勇者… して多雜の年こそ、大きく羽ばたき|所川原町の実現に拍車がかけられる|の青煦を頃すて、急き打自台と隻り||議員外來資多数臨席のもとに表彰式わけには行かないであろう。多岐に大乘的な協調の力があつてこそ大五|る。《議長という名》の悲願は渾り||議員外來資多数臨席のもとに表彰式わけには行かないであろう。多岐に大乘的な協調の力があつてこそ大五||る。《議長という名》の悲願は渾り||議員外來資多数臨席のもとに表彰式わけには行かないであろう。多岐に大乘的な協調の力があつてこそ大五||る。《議長という名》の悲願は渾り||議員外來資多数臨席のもとに表彰式わけには行かないである。 議長に当選とのかた再び四代目議長、良き町政進行えの踏切り番となり 不肖、みずからの力を喘らず初代利を議会の運営にかけて、良き議会受賞者の答辞があつて盛大裡に終 した。

り染望を荷うて再選となつた山内町どうやら大過なきを得て今日に至ったいと念願しているものである。 五所川原町政は、昨春の改選に方に就任し、浅学菲才の身を以てしてそのの族ふり役のに精魂を打ち込み

まない……踏み越えた廿八年の道は等々、脈々として脈搏つ地方自治のに躊躇しない。這間の空氣と消息をる意味に於て、常に自巳批判を自己たにして乞わるるまま一文を草し午年令は十七才以上の婦人 つつ、我が町政の伸展を希求して已光を浴びて浮び上つた町村合併問題は『町民』の名に於て断乎排撃するは反面また町民の監視をも受けてい勇氣と信条を忘れまいとし、想を新 しかつただけに、暖多異変の穩か飛躍的な議会活動の要求を見逃がす見究め、執行機関と議決機関を結ぶ反省を怠らざらむことを念としてい歳の年頭に誓う次第である 万三千町民の御多幸を祈念しの延長としても、新らしい時代の脚共の福祉を阻害するか如きことあれば理事者の執行ぶりを監視する私達。乗り越えてヶ青い山脈々を踏破する た昭和二い。そこには新しい自治の胎動がきめられているともいえるであろう。| 之れを反映せしむると共に、常時全の上に生きる私は敢て駑馬に鞭うち 放なされはまた必ずしも坦々たるものではなく物をいつている『隱忍自重』が秘して常に町民輿論を動員して議会にしくとも、正義と自由を愛する信念一月三十日まで安定所へ申込下さ のと明けさせた感じもするが、今年の行く手議会議員諸君の理解ある協力が大きるものである。われわれは議会人とよしや々天馬空を騙ける々血氣に乏を募集致して居りますから希望者は 新春を壽間題や学校施設の伸張等は積極町政れない……凡そ私利私欲のために公ととを自覚している。議会人として乗り替えても『前進』を阻む障碍を 十九年の|とえる。上水道、都市計画等の拡充|いらなれば々不安定の安定々かも知町民の監視の中に立たせられている|社会公共の福祉のためには牛を馬に ほのほな新年はわけもなく人の心をホッとには幸いにして自主性を持ち続けるしかないと感銘とれを久しらしていの不德を叩つている私ではあるが、思者及産標の看護一般家庭の家政 かな進行ぶりを見せているが、そこ他くなき支援と理解ある協力の賜で、徐々、徒らに馬齢を加らるのみで身 詳細は安定所にお問合下さい。 二、一般労働者 一、看護婦 準看讓婦 家庭の仕事の餘暇に働く人 住込で働く人 一日通して働く人

発行所 北津軽郡五所川原町 五所川原町役場 電話 二八番二二八番

陸奥印刷株式会社 庶務課 廣報係

世人 帶口

めまた町民全体の福利増進を図るた◆五所川原町起債及償還方法議決の その余波を受け、あらゆる面におい 超緊縮予算を樹てつつありますが、 りましようが、地方自治確立のた 政府は、昭和二十九年度において 相当の財政的圧迫を受けることで

◆五所川原町起債及償還方法議決の

都市計画重要幹線省路整備事業費

◆昭和二十八年度町特別会計水道費

謹

年

年度から継続事業として大五所川原事者として意を强くするものであり 表流水の使用を計画し、昭和二十八增築工事を進めつつあることは町理す所存であります。 ますが、これが解决策として岩木川会に於てあらゆる困難を克服しつつ運営のため、遺憾のないよう努力致 又学校增築については、教育委員すが、各位の御支援のもとに、町政 めの税の点に於て、倍旧の御協力を その他種々改善すべき事はありま 願する次第であります。

町としての給水人口三万を目標としまして、これら数育施設の改善のたための諸点を申述べ、年頭の辞とい 新春を迎えるに当り、町政運営の 本年四月から新たに入学する見

新入学児童に就 昭和二十九年度

C

た建設工事の第一歩が力强く踏み出めには、協力を惜しまぬものでありたします。 動 8

童であります。これ等の兒童の保護

十三年四月一日までの間に生れた見

昭和二十二年四月二日から昭和

Man A 会 (十二月中)

田厂 議 会 事 務 局

> 至急役場へお出になって係へ申出て 書が国かないときは恐れ入ります ますが、若し今月末になつても通 檢査通知書を届ける予定になって 者には一月末までに就学前兒童身体

青森縣に於て天燃瓦斯採取のため◆昭和二十八年度町叢入叢出追加更 小学校校舍改築分 三五〇万円 可決り行います。 なお就学前兒童身体檢查は左記の通 下かい。

可决 可决◆昭和二十八年度町特別会計国民健 正予算の件

可决一、日時 昭和二十九年二月十日 午前九時华から午後三時まで 記

昭 和二 納稅完納優良者 七年度

上水道事業費二〇〇万円 可决式は去る十二月二十五日公民館で税 昭和二十七年度前納稅完納者表彰 六四一名を表彰

五所川原町公平委員会 委員長

五. 佐々木啓二 中村 善雄

五所川原職業安定所の

6

せ

五 所川原町固定資産 所川 評価審 選挙管理委員会 委員長 / 委員長 原 查委員会 佐々木養吉 木福 岩村士 舘 村上 純 勝行忠備男雄

古川篤三郎 菊池 鶴谷 小島 木山村川 小田桐与作 加藤郁之助 木村干代吉 荒谷勝太郎 田附健四郎 小田桐七郎 誠二 久元清克 市重隆比 正志 久吉 重弥清唯藤吉太助六一

五所川 原町議 会

四定資產評價員 加藤清吾 助 町 役 小田桐勝義 桐勝義

公営住宅建設事業費九〇万円

議副議 員長長

供出金品の配分

受配者は要被保護者

新正から旧正まで

戸籍謄本を作製中の方を除く)

.....

伊勢海利助

左記に該当する方には役場民生課迄

御願いする次第です。

町民各位の御理解と格段の御協力をあろう。利助は身長六尺二分、体重

恩給扶助料の手続

一月一日より青森縣農業基本調査が

業

基

本調查実施

1日軍人、軍屬で戦時中公務に起因1日軍人、軍屬で戦時中公務に起因

伊勢海は三好村鶴ヶ岡出身で、川

福

#

貞蔵

施されます。本調査は農業の実態

及公務(普通)扶助料証書を交付率行しながらも、

角力を好み鳥海と江戸

願います

冬を過させたい念願から左記により

動を実施致したく何分の御協力を

て氣の毒な人々をいくらかでも暖い

と思いますのでこれが一環運動とし

旧軍人軍

属

0

これが接護運動は緊急を要するもの

歲

末たす

if

あ

V

運

動

実施

## 償却資產申告書 提 出 方 1= 0

T

され、その後死亡された遺族の方 (何れも証書持参のこと)

町

立

病 院 病 棟

るを悦び、柏戸関贔負連中並に相撲

一同は吉原に招待し、大門を三晝夜

于于于 四三二 日日日

産業大会(青年団)ク

十十十八六五日日日

書道研究会員会

五

原

町

スクエアー教養講座々

町 内営業者の皆様

昭和二十九年度分償却資產申告書の四、 年度に申告落の方でも申告下さ 期限は一月三十一日ですから洩

なく提出下さい

すから御注意下さい。 月分の米の

)見積價格(時下購入價格) 今度一月分より値上りの予定でありと不明の場合は大体の取得年月を お方は至急受配して下さい組目。数量。取得時期(何年何月 お方は至急受配して下さい 現在遊休、未稼動のものも含まれことができるものとなつています、償却資産とは事業の用に供する 、時告書の書き方及び種類別名稱 左の四ヶ所。欄だけ書いて下りますから御承知下さい 先渡し致しましたので拾六日分とな 十二月分を未だ受配になっていな 一月分の配給米は十二月に二日分 受配は早く!!

0

未

金

早

<

納 税

8

ま

t

(

向う三軒

両

隣り

商賣道具の種類とは左の通ります。 貧困者児童に

ė

納税は郷土のほまれ

0

ほ

t

**資困者見童に対して正月用御見舞** 密附者 対馬谊太郎 対馬谊太郎

器具農機具、医療機具、冷凍機械中別製本機械、食品製造加工機械、基維機械、建設用機械工作機械、建設用機械 正月用御見舞品 贈らる

0

明るい旧正

迎いましょう

ではいる。とであり各関係より感謝されて居ります。

でいる方(実在職年七年以上にし、履歴(軍関係のみ)のはつきりし 慮なく係へ御相談願います。 (遺族年金証書持参のこと) 生のないといわれた方で未だ遺族 といわれた方で未だ遺族 歌死した軍属の遺族で恩給法に該 て報告をなし未手続の方し

その他不明な点がありましたら遠になって居りますから必ず受診証を二十七日病疫行年四十六才、法名西 一お忘れなく御持参下さい。

完成のお知らせ

虚偽の申告をした場合には罰金又「復悉(軍関系のみ)のはつきりしい。 正当の理由なく申告しなかつたり6一時恩給に該当される方で各人の「成致しましたからどうぞ御利用下さ 原へ赴いた。此の有樣を眺めて江戸正当の理由なく申告しなかつたり6一時恩給に該当される方で各人の「成致しましたからどうぞ御利用下さ原へ赴いた。此の有樣を眺めて江戸 (造族年金証書持縁のこと) 入院室不足のため町民の皆様に不便う事である。利助も比の厚意に耐し、年属で普通恩給旣裁定者をお掛けして≫りましたが此の度第べき旦那を駕籠に乗せ、天下の大関、「本規定者をも含む」 は速かに請 二期増築工事(ベット六○分)が完 ともあろう者が裾をまくり素足で吉、水寺続をして下さい。 入院室不足のため町民の皆様に不便う事である。利助も比の厚意に酬ゆる。 其の時要した金は三箱に及んだと締切つて豪遊した。

健康保險課より受診証をお持ちにな 文政八年引退して五代目伊勢海とし信町立病院にお出での節は町役場 大騰ぎしたという事である。 れば治療代金は半額支拂へばよい事で年帯事務となり、文政十三年十月

於て追善興行を執行し、碑を毛内林代目柏戸五太夫東北巡業の際当町に 光院阿覚密音居士、嘉永元年八月七 (現在錦町偉人堂境内)に建つ、 一十九日

かしめた伊勢海の勇姿は田辺旅館で 因に藩公が召抱い絵師をして特に描 の文字は旦那庄右エ門の筆である。

竹出

窓

二月中

生 + 死 亡

所藏している。 3 運搬予定表 (一月十一日より)

秋 雄二 男

屋

町

好考男

納税は町を明るく身がかるく こぞつて税金納めましょう + + + + + 八 六 Æ 四 三日 H H H H 日日 田栄染元 元更 更 錦 錦 錦 新 新 幾 機 柏 柏 上 上平 生生 宮 宮島 島原 原 井 井 町町 町町 町町 町町 町町 町町 町町 中下下敷敷旭平平平岛岛 非井井岛岛 町町町町町町町町

貞

大 元

町

**德** 谷雄

下平井町

鶴賀谷

· 壽二女

孏

生

町

康子長女

錦

即。 ○ 懇 方。

定資產稅、自転車稅、水利地盆稅、昭和二十八年度分町稅(町民稅、固

+

九

= +

日 日

常外藤郎

雅子女

寺

石井 史子

元

二十一日

十二日

例年実施して各方面から非常に感來ぬ規則になって居りますので調査の納税率は期待を裏切り、成績惡く五回に及び、古今最高優勝者は第 までに、决定致しましたので、何卒ので、津軽候の自慢したのも当然で 納入して下さい。十二月末日現在迄屋三十七、引分十三、預一、優勝十 様の手許に発付致しましたので早く十一年、入幕以來勝星百五十八、 保險税)令書は全部去る十二月に皆し文政八年迄東の大関を張通すこと 法的措置をもとらなければならぬと、奥女中に至るまで力瘤を入れたもましたが、最悪の場合は、强力なる旧藩時代は各語大名は相撲を召抱え て、皆様の御協力を要望致して置き|双葉山も及ばね程の好成績であった どん調子で全十二年には大関に栄進 士となり名を柏戸と改む、爾來どん 柏戸宗五郎の熈望に從つて弟子とな た。文化三年大相撲巡業の際、 し、翌年九代の藩主寧親公の御抱力 項と名乗った、仝八年早くも入幕 田舎相撲に加わるを例とし

美男で笑顔を切らさぬ愛きよう者で く吉原通をしたものであったが奉公 公原圧右エ門は若い時の事ととてよ ざまの逸話に富める鶴屋五代の主人 士に求め類山陽とも交友あり、さま 人氣はたいしたものであつた交を名 二十五貫という堂々たる体軀で加之 

三十二 三十

H H 二十八日

一十七日 一十六日 一十五日

東本本新田田栄栄元元更更錦錦

本工

二十九日

▲死

3 恩給停止前に普通恩給証書を交付浪酉職の三男、幼名を利助と謂った人の利助は天下の大関(当時横綱は され、その後死亡された遺族の方力飽くまで强く大長者酒造業鶴屋へ|中断時代であった)としての名声は二一十 二十二 日日

書道研究会

公民館行事予定 (一月中)

古村 正恵 東八 水上 永助 齊藤吳奈子 亡 61 61 72 (0) 9

施 小 旅 川 博 二男 金古之村藏 藤作 幸 淳 柳寺錦下下元東敷旭岩平平井井 島 木町町町町町町町町町町町町町町町町 寺 柳 下平井町 上平井町 町

竹佐藤

民 生 副委員長 委員長 委

委

員

員 至三石高 齊成毛 岩松蔣山 木寺川小浦井橋 藤田内 谷本田川 村田村田 嘉嘉 改 改 忠三喜桐 一藤太信 四長次 奉五富定 一次太久 一郎吉 郎吉郎 吉郎吉助 鄭郎郎石

装 弘 春 藤治

伸

幾

島

長男

青山 厚子女

上平井町

夫

エミ子女

布

屋

原町農業委員会 岩谷 卯作

委会

败 布 錦

島

町

五

所

菊平江原 地山渡 又 尝哲三郎 惇一哉郎

健康保険運 教 委委委 副 育 長 員員員 員 長 委員長 當協議会

委員長 委 福成永 棟 三 士田澤 方 上 小田桐勝義 員 貞弘松 藏三枝 克比 会 得

謹 教所 賀 新 年

岩舘 忠雄 忠雄郎 村成棟上田方 平山良三郎 吉太郎